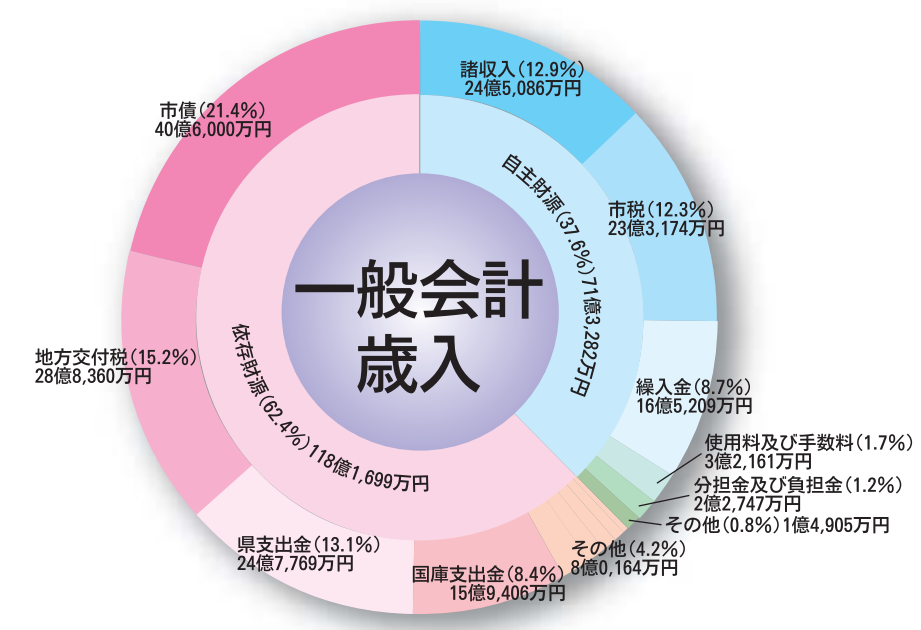
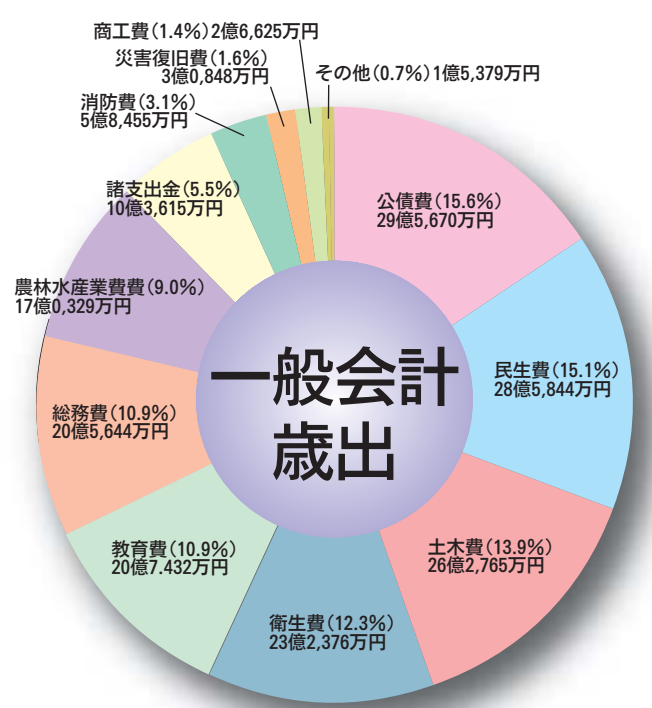


新恵那市の初年度予算が決まる

予算総額は341億円

一般会計189億5千万円の内訳



16年度の主な事業

- 健やかで若さあふれる元気なまち
- 児童手当の給付-----1億1,510万円
 - 児童育成計画の推進-----426万円
 - 市立保育園の管理運営-----3億8,369万円
 - 福祉医療費-----2億6,296万円
 - 高齢者等の生活支援-----4,440万円
 - 支援費制度の推進-----2億1,681万円
 - 明智回想法センターの整備-----7,864万円
 - 森林整備地域活動の支援-----4,381万円
- 豊かな自然と調和した安全なまち
- 過年道路橋りょうの災害復旧-----1億4,815万円
 - 市営住宅の建設-----8,716万円
 - 常備消防一般経費-----2億9,696万円
 - 火葬場の建設-----6億6,510万円
 - 恵南クリーンセンターあおぞらの維持管理 1億8,710万円
 - 特定環境下水道折処理区の建設(補助)2億4,372万円
- 快適に暮らせる便利で美しいまち
- 地籍調査の推進-----2億7,180万円
 - 市単道路橋りょうの新設改良-----2億6,016万円
 - まちづくり総合支援事業-----1億2,593万円
 - 東雲バイパスの整備-----1億6,994万円
- 活力と創造性あふれる魅力あるまち
- 企業誘致対策-----5,471万円
 - 中山間地域等直接支払の推進-----1億8,370万円
 - 公共林道の整備-----1億2,847万円
 - 山岡団体営農業振興地域情報基盤の整備- 4億0,830万円
 - 串原団体営農業振興地域情報基盤の整備- 2億4,160万円
 - 温泉開発事業-----1億0,065万円
- 思いやりと文化を育む人づくりのまち
- 恵那北小学校の建設-----6億6,185万円
 - 長島小学校の耐震補強-----7,209万円
 - 武並コミュニティセンターの建設-----2,743万円
 - 岩村まちなみ保存-----6,519万円
 - 東濃スケート場の建設促進-----6,283万円
 - 健全で心の通った協働のまち
 - 市長・市議会議員選挙-----1億0,930万円

は、一般会計で三百七十一億二千二百万円、市民一人当たりでは六十四万三千四百五十五円となります。これに簡易水道事業や農業集落排水事業、公共下水道事業などの特別会計を加えると、五百六十九億円余りとなります。

基金は100億4千万円

一方で、旧六市町村から新市へ引き継いだ貯金とも言える基金は、奨学資金貸与基金のように貸し付けて運用するものも含めて、一般会計・特別会計合わせて百億三千九百万円となっています。

問い合わせ 財務課財政係 ☎262111 (内線371)

項目	金額
積み立てる基金	
財政調整基金	26億0,944万円
減債基金	9億1,742万円
公共施設整備基金	10億6,183万円
市民のまちづくり基金	5億2,053万円
地域福祉基金	9億3,555万円
その他一般会計の目的基金	11億7,198万円
特別会計基金	16億7,632万円
運用する基金	
土地開発基金	9億5,511万円
その他運用する基金	1億9,087万円
合計	100億3,905万円

項目	金額
一般会計	371億2,226万円
特別会計	197億7,959万円
国保(施設)	3億6,934万円
介護サービス事業	5億6,155万円
簡易水道事業	65億6,172万円
農業集落排水事業	93億9,132万円
駐車場事業	3億4,064万円
公共下水道事業	25億5,504万円
企業会計	38億7,553万円
水道事業	22億3,536万円
病院事業	7億8,669万円
介護老人保健施設事業	8億5,348万円
合計	607億7,738万円

十月二十五日の合併から三月末日までの新恵那市の十六年度予算が決定しました。

新市になって初めての予算は、総額で約三百四十一億円、一般会計予算は約百八十九億五千万円となっています。この予算は、合併前の旧市町村で四月から行ってきた事業などにかかった費用の残額を合算したものです。この金額に市長・市議会議員選挙の経費や、合併に伴い充実された福祉医療制度に係る経費、給食に係る経費などを増額し、特別職報酬や議員報酬、一般事務経費などを減額し

また旧市町村の予算が年度途中の合併時点で打ち切りとなったため、この時点での資金不足を補うためのお金を一時的に銀行から借り入れており、これを返済する予算も上乗せされています。(このような一時的な借入資金は、年間予算であれば予算には計上されません)

合併前の旧六市町村の一般会計予算の総額は約三百十七億円でしたので、約六割が新市の本予算額となりました。

合併時の起債残高(借金)は一般会計で371億円

旧六市町村から新市誕生時に引き継がれた起債残高の合計

当初予算の内訳	
一般会計	189億4,981万円
特別会計	115億4,962万円
国民健康保険特別会計(事業)	23億7,756万円
国民健康保険特別会計(施設)	5億0,090万円
老人保健医療特別会計	26億9,534万円
介護保険特別会計	21億7,269万円
公共下水道事業特別会計	20億9,716万円
簡易水道事業特別会計	10億6,295万円
農業集落排水事業特別会計	4億5,140万円
温泉事業特別会計	1億2,944万円
駐車場事業特別会計	4,851万円
交通災害共済事業特別会計	1,205万円
上財産区特別会計	132万円
遠山財産区特別会計	31万円
企業会計	36億0,621万円
病院事業会計	収益的収入 14億9,760万円 資本的支出 8億5,624万円
水道事業会計	収益的収入 4億8,070万円 資本的支出 5億5,990万円
介護老人保健施設事業会計	収益的収入 1億9,714万円 資本的支出 1,462万円
予算総額	341億0,564万円

市民1人当たりの額は10月25日現在の住民基本台帳の人口、57,692人で計算しています。